

関係者ヒアリングの進め方(案)

1. 平成 30 年台風 21 号で関西国際空港被災時の対応

(1) 平成 30 年台風 21 号で関西国際空港が被災した際、関西国際空港側（被災空港側）および成田国際空港等（応援空港側）それぞれについて、どのように対応しましたか。また、以下に示すものから漏れているものがあれば教えてください。

(2) それぞれの対応をとった際、どのような情報・手続き・判断等が必要でしたか。また、それをどこからどのように入手しましたか。

【資料】平成 30 年台風 21 号で関西国際空港被災時の対応（成田国際空港が被災した場合の代替輸送連絡調整メカニズムの構築のための調査第 1 回検討会資料より）

[関西国際空港側（被災空港側）]

	空港会社	航空会社	空港上屋	フォワーダー	その他
9/4（発災）					
9/5～10		・受託停止 ・他空港への保税輸送停止	・受託制限	・自社施設活用 ・成田・中部等への転送 ・他空港への保税輸送停止	
9/11～20		・受託再開	・受託再開		
9/21～30					

[成田国際空港等（応援空港側）]

	空港会社	航空会社	空港上屋	フォワーダー	その他
9/4（発災）					
9/5～7	・上屋用地確保	・臨時便の運航 ・機材変更	・上屋用地増床を空港会社 へ依頼、上屋用地確保	・航空機のスペース確保	
9/10～16	・航空会社の要請を受け、暫 定貨物上屋の臨時賃貸		・受託制限 ・暫定貨物上屋の臨時賃貸		
9/17～30		・受託制限	・受託停止 ・無料保管		

2. 平成 30 年台風 21 号対応時の教訓

平成 30 年台風 21 号で関西国際空港が被災した際、応援空港側で空港上屋の機能が著しく低下（ビルドアップの遅れ、荷受け待ち渋滞の発生、保管場所の不足等）しました。

- （１）これを回避するために、御社はどのような対応をとりましたか。また、御社及び関係者（空港会社、航空会社、空港上屋、フォワーダー、荷主、国等）はどのような対応をとるべきだったとお考えですか。（※下記の参考図表は、事務局の仮説です。）
- （２）それぞれの対応をとる際、どのような情報・手続き・判断等が必要ですか。また、それをどこからどのように入手しますか。

【参考図表】 応援空港側の空港上屋の機能低下を回避。抑制するために必要な方策（事務局仮説）

	輸出	輸入
	応援空港の空港上屋を機能低下（ビルドアップの遅れ、荷受け待ち渋滞の発生、保管場所の不足等）させない	応援空港の空港上屋を機能低下（ブレイクダウン・通関待ちの発生、引き取り待ち貨物の滞留、保管場所の不足等）させない
空港会社	他空港の混雑状況の把握・調整 航空会社へ着陸便数の抑制を求める	他空港の混雑状況の把握・調整 航空会社へ着陸便数の抑制を求める
航空会社	発着空港の変更情報を早く連絡する 機能低下の恐れのある空港を避ける	発着空港の変更情報を早く連絡する 機能低下の恐れのある空港を避ける
空港上屋	受入能力を把握して必要なら受入を停止する 貨物の搬入を抑制・停止する要請する 一時保管場所を増やす（他社との相互融通含む） 荷さばき能力を高める 時間差で対応できるよう計画する	受入能力を把握して必要なら着陸の抑制を求める 速やかに貨物を引き取るよう要請する 一時保管場所を増やす（他社との相互融通含む） 荷さばき能力を高める 時間差で対応できるよう計画する
フォワーダー	貨物の搬入予定を空港上屋に早く伝える 貨物の搬入を抑制・停止する 貨物の搬入を他社と共同で行う 貨物の発送を抑制・停止するよう荷主に要請する 一時保管場所を増やす（他社との相互融通含む） 荷さばき能力を高める 時間差で対応できるよう計画する	速やかに貨物を引き取るよう手配する 貨物の引き取りに必要なトラックを増車する 貨物の引き取り・配達を他社と共同で行う 貨物の引き取り予定を空港上屋に早く伝える 一時保管場所を増やす（他社との相互融通含む） 荷さばき能力を高める 時間差で対応できるよう計画する

3. 主要空港被災（閉鎖・障害発生）時の代替輸送の考え方

- （１）過去の大規模災害等への対応事例（被害状況および対応事例）について教えてください。
- （２）それぞれの対応をとった際、どのような情報・手続き・判断等が必要でしたか。また、それをどこからどのように入手しましたか。
- （３）その際の問題点があれば教えてください。
- （４）主要空港被災（閉鎖・障害発生）時の代替輸送の考え方（他空港利用・転送の制約・留意点）について教えてください。

以 上